

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 経済予測	講義科目	産業連関表による経済波及 効果	講義時間	7コマ
講 師	吉田 泰治 元九州大学大学院農学研究院農業資源経済学部門食料産業システム解析学分野教授				

※1コマ70分

講義のねらい

本講では、産業連関分析の手法である「均衡産出額モデル」、「均衡価格モデル」の考え方、数学的展開など、基礎的な分析方法について講述する。また、産業間・地域間への経済波及効果の推定手法について講述するとともに、実際の産業連関表データと Excel を用いて、分析手法に関する実習を行う。さらに、県経済、市町村経済に関する波及効果分析の手法についても、講述する。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
1. 産業連関表の見方	平成23年産業連関表により、産業連関表を用いた分析手法の紹介、SNA等他の統計との関係などについて講述
2. 均衡産出額モデル	最もオーソドックスな分析手法である「均衡産出額モデル」について、分析手法を、輸入外生、輸入内生の場合に分けて講述
3. 均衡価格モデル	原油価格変動の物価への影響などの分析に使用される「均衡価格モデル」のについて講述
4. 地域経済への波及効果分析	産業連関分析の結果を、「市町村民経済計算」を用いて、市町村経済への波及効果を分析する手法について講述
5. Excelを用いた実習	平成23年産業連関表をコンパクトにまとめた10部門程度の表を用いて、1.～4.の分析手法について、実習を行う。

講義形態 指導方法

講義は、資料（プリント等）に基づく講義と、パソコンを用いた実習を行う。実習のための産業連関表ファイルも配布する。

受講に必要な 基礎知識等

行列演算に関する簡単な基礎知識と、表計算（Excel）を一通り使えること。